



患者さんとともに社会復帰の 支援策を考える

主催：科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究種目：基盤研究（C）
「がん患者の社会復帰に関する研究」グループ主催ワークショップ
代表：国際医療福祉大学保健医療学部看護学科 教授 糸井裕子

開催日：平成25年 **12月14日**（土）

開催時間：14：00～17：10

会場：国際医療福祉大学三田病院 11階三田ホール

参加費
無料

胃切除術後患者さんの多くは、手術後の社会復帰を目指すとき、なんらかの悩みや困りごとを抱えているのではないのでしょうか。そのような多くの患者さんに対し、医療チームで支援を行っています。

この支援をより良いものにするために、患者さんの要望などをもとに、医師や看護師、保健師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士と一緒に支援策を考え提供していきます。

プログラム

基調講演 (仮題)「胃切除術後のチーム医療」 国際医療福祉大学 学長 北島政樹

講演 「胃切除術後障害の概要について」
国際医療福祉大学三田病院 外科・消化器センター 外科部長 吉田 昌

講演 「胃切除術後の社会生活を楽しむために」 根岸ひろみ

講演 「胃切除術後の職場生活に適應するための工夫と課題」 小松 武

講演 「がん患者の職場における健康管理の現状と課題」
産業保健師 蜷川己曜子

講演 「胃切除術後患者の経時的栄養指導の実際」
国際医療福祉大学三田病院 管理栄養士 鈴木美智江

講演 「胃切除術後患者の社会復帰における問題点～インタビュー調査の結果から～」
国際医療福祉大学保健医療学部看護学科 教授 糸井裕子

座談会 職場や家庭で生活する胃がん治療後の患者の抱える問題を話し合う
～あったらいいな、こんな支援～

●問い合わせ先：
国際医療福祉大学看護学科 金子
TEL：0287-24-3012
FAX：0287-24-3191
Mail：jkaneko@iuhw.ac.jp